

平成 25 年 3 月 12 日

学校協議会員 様

学校教育自己診断（総括）

本年度実施した、学校教育自己診断アンケート（保護者・生徒・教職員）の結果において、ほとんどの項目において肯定的な回答が増加し、本校の取り組みについて高い評価を得ている。

【総合的な項目】

- ・質問項目『泉北高校に進学して（させて）よかった』には、『よくあてはまる』と回答した生徒は、(6%)、保護者は(10%)増加し（生徒48%、保護者59%）、高い伸びを示している。また、『学校の雰囲気が高く、生徒が生き生きしている』(9%増)など、すべての項目で、積極的肯定的回答が5%以上増加し、生徒、保護者から高い評価を得ている。（特に1年生において、大きく改善している）

【特色のある教育活動】

- ・『SSHの取り組み』に対しては、肯定的回答が、生徒(7%)、保護者(5%)増加し、『EFHSの取り組み』に対しては、生徒(12%)、保護者(11%)増加し、また、『異文化理解や国際交流について学習機会が多い』は、生徒は(8%)、保護者は(12%)増加している。本校の教育活動について、理解が深まるとともに、評価を得ている。

【特別活動】

- ・『ホームルーム活動』や『生徒会活動』に対しての生徒の回答は6~14%積極的肯定的意見が増加し、充実した学校生活への意欲の向上が見られる。

【進路指導】

- ・『進路についての取り組み』に対しては、生徒、保護者ともに5%以上向上し、今年度の取り組みに対して高評価を得ている。

【学習指導】

- ・ほとんどの項目において、昨年度と大きな変化がなく、改善に向けての新たな取り組みの必要性がある。

【広報活動】

- ・『HPや、メールマガジンでの情報発信』に対する保護者の評価は、それぞれ(14%)、(19%)向上し、結果、『家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている』(7%向上)、『学校運営に保護者の意見が取り入れられている』(7%向上)、『PTA活動が活発』(14%向上)、『子供は学校の話をよくする』(13%向上)など、開かれた学校づくりが行われている。

【保健防災活動】

- ・『地震や台風への対応』に対する保護者の肯定的な回答が(7%減)、『学校の施設、設備、学習環境』に対しては(6%減)、『事故防止に配慮』(6%減)など、この分野のみ、評価が低下しており、次年度以降の課題である。